

事務事業マネジメントシート(令和 6年度実績と令和 7年度計画)

令和 7年 9月 4日更新

事務事業名		健康づくり事業		<input checked="" type="checkbox"/> 安全・安心に暮らせるまちづくりの推進 <input type="checkbox"/> 「こどもまんなか社会」の構築 <input type="checkbox"/> 産業の共生による市経済の持続的発展					
総合計画体系	政策	2	福祉の健全	所属部	健康福祉部	課長名	中嶋 繁之		
	施策	6	健康づくりの推進	所属課	健康ほけん課	担当者名	溝口 寛子		
	業務分野	21	病気になるらない生活習慣の確立	所属班	健康づくり班	(内線)	1182		
予算科目		会計一般	款 4	項 1	目 4	事業連番	11575	法令根拠	健康増進法
終了、開始年度		<input type="checkbox"/> 6年度で終了 <input type="checkbox"/> 6年度から開始		事業期間		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 24 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度			

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化・関係者からの意見や要望を含む)	1. 行政と市民のパイプ役となり健康づくりを普及するボランティアの定期学習会(健康づくり推進員) 2. 職員が地域に出向いて健康教育を行なう(出前講座) 3. 生活習慣病対策に向け健康教育を行なう 4. 健康づくりの必要性について考える機会として実施(健康づくり講演会) 5. 会の開催(健康づくり推進協議会) 6. 健康増進計画・食育推進計画の策定(6年に1回)
【業務の流れ】	1. 健康づくり推進員学習会 ①企画 ②推進員への通知 ③準備 ④実施 ⑤他の事業との連携・調整 2. 健康教育出前講座 ①地区などからの依頼 ②講座内容の検討 ③講座準備 ④講座の実施 ⑤評価 3. 健康教室 ①教室の企画、講師依頼 ②講師との打ち合わせ ③参加者の募集 ④教室の準備 ⑤教室の実施 ⑥評価 4. 健康づくり講演会 ①講演会の企画、講師依頼 ②講師との打ち合わせ ③参加者の募集 ④講演会準備 ⑤講演会の実施 ⑥評価 5. 健康づくり推進協議会 ①委員の選定(市民代表を含む) ②委員の委嘱 ③協議会の運営 ④会議録の公表 ⑤報償費・費用弁償の支払い
【主な予算費目】	報償費、旅費、需用費、委託料、使用料及び賃借料、職員手当等、役務費

(1)事務事業の振り返り・計画

①6年度事務事業の成果・実績

- 健康づくり推進員学習会：6月、8月に学習会を2回実施、9月、10月に減塩の大切さについて市民に伝える取り組み(がん検診時)を実施した(延べ人数計25人)。
- 健康教育出前講座：7回実施、参加人数計111人
- 健康教室(大人のカラダ革命)：10、11月に40～60歳の市民を対象とした健康教室を5回実施した。(延べ人数計125人)
- 健康づくり講演会：健康づくり推進員と市民を対象に11月にくわみず病院から日本睡眠学会専門医を講師に招いて実施した。(内容：快眠で健康づくり、参加者：48人)
- 健康づくり推進協議会：7月・10月・2月に計3回開催した。(出席者各回13人延べ人数39人)
- 合志市第3次健康増進・食育推進計画を策定した。

②7年度計画(次年度に計画している主な内容)

市民のニーズや健診結果等に基づいたテーマを設定し、健康づくり講演会を実施する。

③予算の主な増減の理由

健康増進・食育推進計画策定があったが、次期計画は6年後のため委託料の減

成果指標

健康づくり事業(教室や講演会等)に参加した市民の人数	(単位) 人	データ取得方法
→イウ		健康づくり事業(教室や講演会等)に参加者した市民の名簿

(2)成果指標・総事業費の推移

成果指標	単位	4年度	5年度	6年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度
		実績(決算)	実績(決算)	目標(当初予算)	実績(決算)	目標(当初予算)	予定	見込	見込
健康づくり事業	人	105	131	400	345	450	500	500	500
事業費	国庫支出金	千円							
	都道府県支出金	千円	11	23	53	44	37	37	37
	地方債	千円							
	その他	千円							
	繰入金	千円							
一般財源	千円	124	152	8,390	7,111	275	275	275	275
(A) 事業費計	千円	135	175	8,443	7,155	312	312	312	312

(3)評価の総括(成果向上の余地・事業費削減の余地)

健康教育や講演会の実施方法や健康づくり推進員の実施内容など検討が今後必要と考えられる。

(4)今後の事業の方向性

- 廃止 縮小 事業のやり方改善 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)